※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	地理総合（帝国書院）　「標準高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「地理総合ワークノート」　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理総合は、持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察することに加え、グローバルな視座から国際理解や国際協力のあり方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察し、地図や地理情報システム（GIS）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する科目です。学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざします。

２　学習の到達目標

①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（後期）	私たちが暮らす世界	緯度・経度 地球儀と世界地図 日本の位置と領域	a:世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 b:地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート（プリント）
	地図や地理情報システムの役割	地図の種類 地形図のルール 主題図の種類と読み取り 地理情報システムと地図	a:地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 b:さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 c:紙の地図や GIS に対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート（プリント）
	人々の生活文化と多様な地理的環境	生活文化の多様性と国際理解 生活文化と自然環境①地形 生活文化と自然環境②気候 生活文化と産業	a:世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 b: 世界各地で多様な地形や気候･植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート（プリント）
	さまざまな地球的課題と国際協力	地球環境問題 民族問題	a:さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 b:地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート（プリント）
	自然環境と防災	日本の自然環境の特色 さまざまな自然災害と防災	a:変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 b:日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート（プリント）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度